



平成20年1月期 第3四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成19年12月13日

上場会社名 株式会社 アルトナー 上場取引所 J Q
 コード番号 2163 URL <http://www.artner.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 相三
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 張替 朋則 TEL (06) 6445-7551

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年1月期第3四半期の業績 (平成19年2月1日 ~ 平成19年10月31日)

(注) 当社は、当四半期より四半期実績の開示を行っているため、平成19年1月期第3四半期実績及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年1月期第3四半期	3,651	-	336	-	304	-	175	-
19年1月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
19年1月期	4,253	-	310	-	288	-	150	-

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年1月期第3四半期	224	10	222	83
19年1月期第3四半期	-	-	-	-
19年1月期	883	68	-	-

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年1月期第3四半期	1,891		851		45.0		965	78
19年1月期第3四半期	-		-		-		-	-
19年1月期	1,703		520		30.6		2,662	33

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年1月期第3四半期	179		△52		△161		626	
19年1月期第3四半期	-		-		-		-	
19年1月期	144		206		△27		661	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金	
	第3四半期末	
	円	銭
20年1月期第3四半期	—	—
19年1月期第3四半期	—	—

3. 平成20年1月期の業績予想(平成19年2月1日～平成20年1月31日) 【参考】

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
通期	5,049	18.7	413	33.2	400	38.5	212	41.2	240	45

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因により記載の予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、原油や原材料価格の高止まりや金利上昇懸念等景気に対して不透明感があるものの、総じて緩やかな回復傾向を続けております。

当社の主要顧客である電気機器、輸送用機器、精密機器関連業界におきましては、業績も好調に推移し、製品開発や生産技術開発も活発であったため、設計開発業務の受注が伸びました。

このような環境下において、当社は主要事業である技術者派遣事業の強化および顧客ニーズに的確に対応すべく、優秀な人材の確保、技術スキルの向上、コミュニケーション能力やヒューマンスキルの向上を目指した教育と、新規顧客開拓と既存顧客の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期会計期間の売上高は3,651,364千円、営業利益は336,841千円、経常利益は304,222千円、四半期純利益は175,819千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第3四半期会計期間における総資産は、前事業年度末に比べ187,901千円増加し、1,891,416千円となりました。

資産の主な増加要因は、賞与引当金の増加による短期繰延税金資産及び営業収入の増加による売掛金の増加等による流動資産185,253千円の増加によるものです。

負債につきましては、前事業年度に比べ143,431千円減少し、1,039,599千円となりました。これは賞与引当金の増加等により流動負債が129,753千円増加したものの、社債の償還、借入金の返済等により固定負債が273,184千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度に比べ331,332千円増加し、851,817千円となりました。これは株式の発行による資本金92,400千円及び資本準備金92,400千円並びに第3四半期の経営成績の結果による利益剰余金が146,495千円増加したこと等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、税引前第3四半期純利益の計上や株式発行による収入があったものの、法人税等の支払、売上債権の増加や社債の償還などにより、626,633千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果得られた資金は、179,358千円であります。これは主に、売上債権の増加額142,306千円、税引前第3四半期純利益306,734千円、法人税等の支払額175,693千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フローの状況)

投資活動の結果使用した資金は、52,908千円であります。これは主に、固定性預金の預入による支出18,000千円、無形固定資産の取得による支出26,087千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フローの状況)

財務活動の結果使用した資金は、161,596千円であります。これは主に、短期借入金の返済による支出910,000千円、短期借入による収入800,000千円、社債の償還による支出110,000千円、株式発行による収入181,494千円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期会計期間における業績予想に関しては、売上高および利益ともに平成19年10月26日付で発表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

(有形固定資産の減価償却の方法)

平成19年度の法人税法の改定に伴い、平成19年4月1日以降取得の有形固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により、減価償却費を計上しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年1月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年1月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年1月期末)
	金額(千円)	金額(千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	—	741,633	—	—	758,779
受取手形	—	14,197	—	—	13,715
売掛金	—	638,676	—	—	496,852
貯蔵品	—	1,333	—	—	1,262
その他	—	200,823	—	—	144,431
貸倒引当金	—	△12,132	—	—	△15,762
流動資産合計	—	1,584,532	—	—	1,399,279
II 固定資産					
有形固定資産	—	95,451	—	—	98,291
無形固定資産	—	36,687	—	—	23,777
投資その他の資産					
保証金	—	111,351	—	—	105,753
その他	—	66,393	—	—	79,414
貸倒引当金	—	△3,000	—	—	△3,000
投資その他の資産合計	—	174,744	—	—	182,168
固定資産合計	—	306,884	—	—	304,236
資産合計	—	1,891,416	—	—	1,703,515
(負債の部)					
I 流動負債					
短期借入金	—	—	—	—	110,000
1年以内返済予定長期 借入金	—	54,200	—	—	82,800
1年以内償還社債	—	210,000	—	—	110,000
未払法人税等	—	117,293	—	—	109,885
賞与引当金	—	239,583	—	—	98,687
役員賞与引当金	—	2,799	—	—	—
その他	—	199,666	—	—	182,416
流動負債合計	—	823,541	—	—	693,788

科目	前年同四半期末 (平成19年1月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年1月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年1月期末)
	金額(千円)	金額(千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額(千円)
II 固定負債					
社債	—	50,000	—	—	260,000
長期借入金	—	36,500	—	—	74,300
退職給付引当金	—	128,097	—	—	153,409
その他	—	1,460	—	—	1,532
固定負債合計	—	216,057	—	—	489,241
負債合計	—	1,039,599	—	—	1,183,030
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	—	237,087	—	—	144,687
資本剰余金					
資本準備金	—	167,137	—	—	74,737
資本剰余金合計	—	167,137	—	—	74,737
利益剰余金					
利益準備金	—	10,460	—	—	10,460
その他利益剰余金					
別途積立金	—	40,000	—	—	40,000
繰越利益剰余金	—	397,542	—	—	251,047
利益剰余金合計	—	448,002	—	—	301,507
株主資本合計	—	852,227	—	—	520,932
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	—	△410	—	—	△447
評価・換算差額等合計	—	△410	—	—	△477
純資産合計	—	851,817	—	—	520,485
負債・純資産合計	—	1,891,416	—	—	1,703,515

(2) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年1月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年1月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年1月期)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
I 売上高	—	3,651,364	—	—	4,253,117
II 売上原価	—	2,553,828	—	—	2,980,861
売上総利益	—	1,097,536	—	—	1,272,255
III 販売費及び一般管理費	—	760,694	—	—	961,762
営業利益	—	336,841	—	—	310,493
IV 営業外収益					
研修教材費	—	1,733	—	—	1,510
その他	—	4,220	—	—	3,401
V 営業外費用					
支払利息	—	3,029	—	—	16,462
上場関連費用	—	27,666	—	—	—
その他	—	7,878	—	—	9,998
経常利益	—	304,222	—	—	288,944
VI 特別利益	—	3,630	—	—	—
VII 特別損失	—	1,117	—	—	8,735
税引前第3四半期(当期)純利益	—	306,734	—	—	280,208
法人税、住民税及び事業税	—	183,640	—	—	140,924
法人税等調整額	—	△52,726	—	—	△10,916
第3四半期(当期)純利益	—	175,819	—	—	150,200

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成19年1月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年1月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年1月期)
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前第3四半期(当期)純利益	—	306,734	280,208
減価償却費	—	7,348	5,301
長期前払費用償却額	—	1,638	2,491
貸倒引当金の増加額(△減少額)	—	△3,630	14,899
賞与引当金の増加額	—	140,896	24,187
役員賞与引当金の増加額	—	2,799	—
退職給付引当金の減少額	—	△25,311	△27,870
受取利息及び受取配当金	—	△302	△239
支払利息	—	3,029	16,462
社債利息	—	1,795	2,768
株式交付費	—	3,005	641
上場関連費用	—	27,666	—
社債発行費	—	—	3,317
減損損失	—	—	6,500
投資有価証券評価損	—	1,117	205
固定資産除却損	—	—	287
売上債権の増加額	—	△142,306	△88,666
貯蔵品の増加額	—	△71	△606
未払消費税等の増加額(△減少額)	—	△10,391	10,786
その他流動資産の減少額(△増加額)	—	8,553	△11,210
その他流動負債の増加額	—	37,681	26,741
小計	—	360,251	266,206
利息及び配当金の受取額	—	302	239
利息の支払額	—	△5,501	△18,394
法人税等の支払額	—	△175,693	△103,933
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	179,358	144,118

	前年同四半期 (平成19年1月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年1月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年1月期)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定性預金の預入による支出	—	△18,000	△22,000
固定性預金の払戻による収入	—	—	253,000
有形固定資産の取得による支出	—	△1,645	△840
無形固定資産の取得による支出	—	△26,087	△13,897
保険積立金の増加額	—	△533	△692
投資有価証券の取得による支出	—	△1,043	△2,848
敷金及び保証金の支出	—	△13,255	△12,529
敷金及び保証金の解約による収入	—	7,657	6,834
その他投資に係る支出	—	—	△200
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△52,908	206,826
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	—	800,000	670,000
短期借入金返済による支出	—	△910,000	△660,000
長期借入による収入	—	—	300,000
長期借入金返済による支出	—	△66,400	△527,200
社債の発行による収入	—	—	196,682
社債の償還による支出	—	△110,000	△80,000
株式の発行による収入	—	181,794	14,917
上場関連費用による支出	—	△27,666	—
新株予約権行使による新株発行収入	—	—	58,500
配当金の支払額	—	△29,325	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△161,596	△27,099
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	—	△35,146	323,845
VI 現金及び現金同等物の期首残高	—	661,779	337,933
VII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高	—	626,633	661,779